

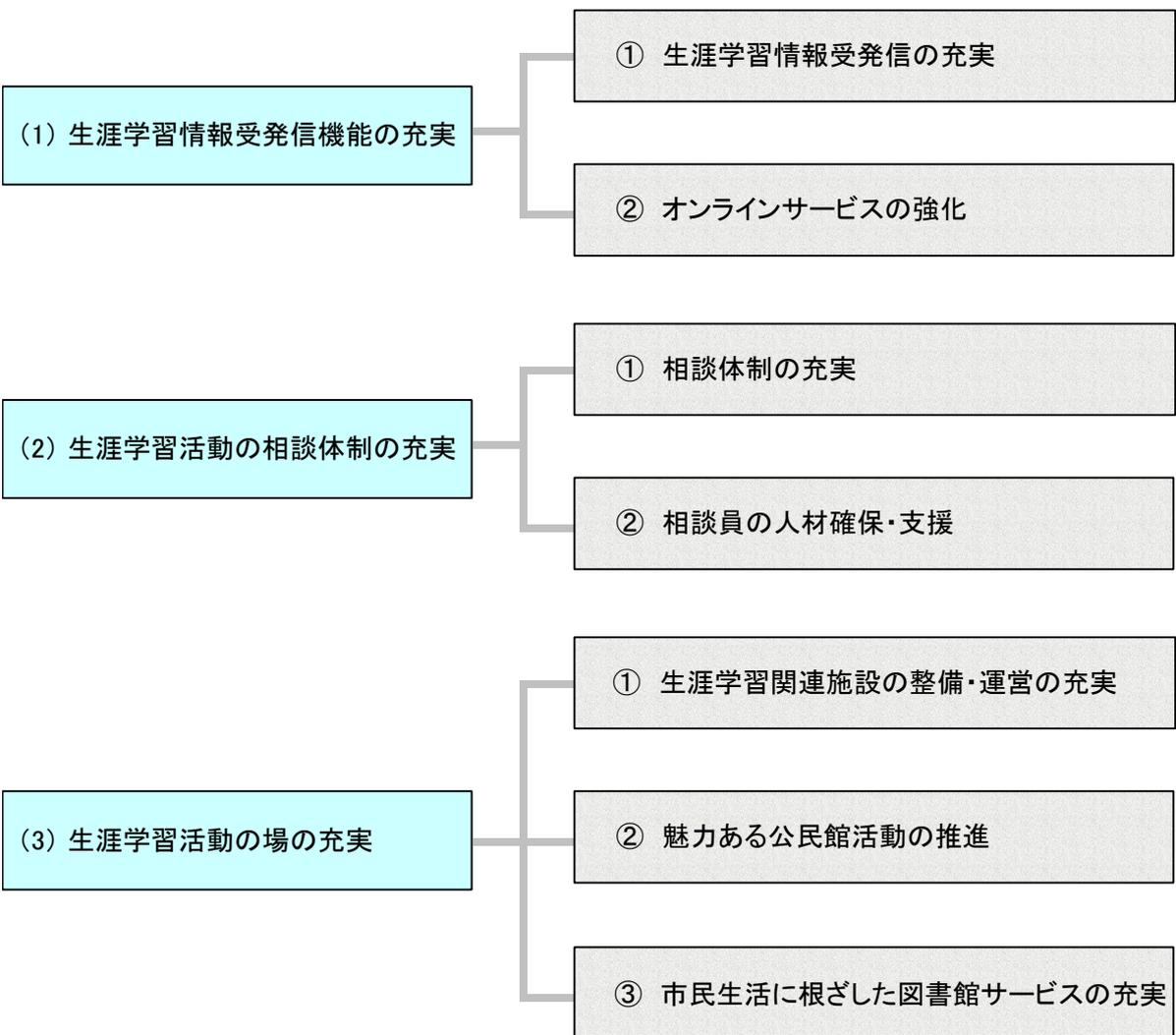
第2章 主要施策と事業の展開

基本構想における基本理念、基本方針、主要施策に基づき、基本計画の推進を図るため、「事業の展開」について定めます。

1. だれもが主役 ～市民が主体的に学べるまちづくり～

主要施策

事業の展開





成田市立図書館

1. 生涯学習情報受発信機能の充実

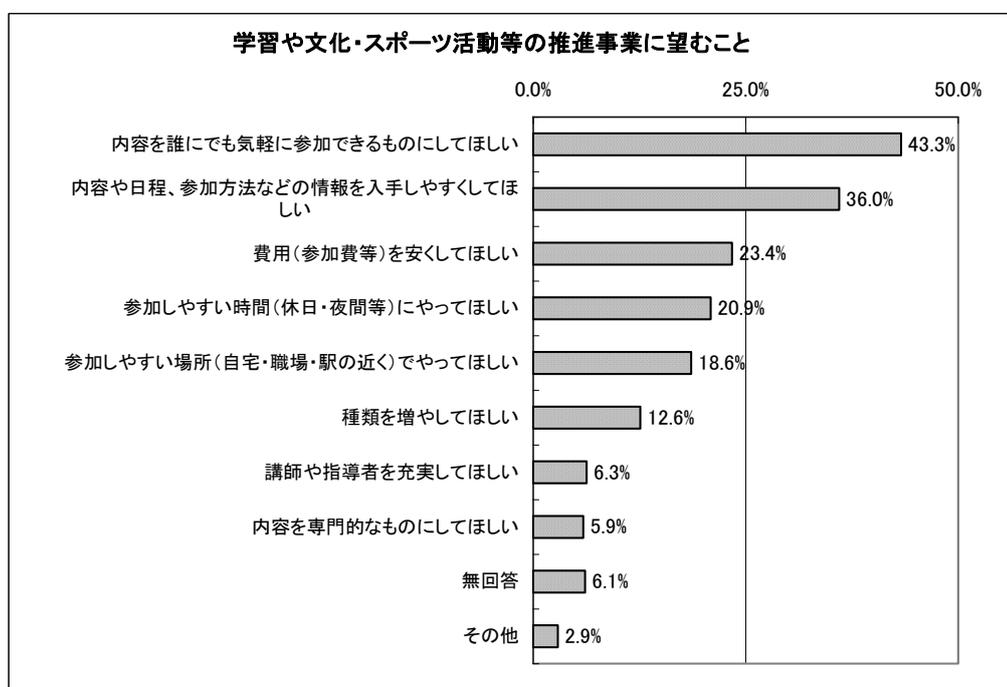
(1) 現状と課題

情報化社会といわれている現在、多くの市民が自らインターネットや携帯電話などさまざまな媒体を利用して必要とする情報を得ており、生涯学習の推進においても、情報化に対応した情報受発信機能の充実が必要となっています。

「学習や文化・スポーツ活動等の推進事業に望むこと」として、「内容や日程、参加方法などの情報を入手しやすくしてほしい」が36.0%となっており、市民が学習情報を求めていることがうかがえます。

現状では、広報「なりた」を始め、「暮らしの便利帳」、「ふるさとガイド」等の情報媒体の発行や、「FM放送番組」の制作、「成田市ホームページ」、「成田市まなび&ボランティアサイト」の運営など、各種メディアを活用して市民へさまざまな情報提供を行っています。

今後も引き続き、市民にとってわかりやすく、利用しやすい情報システムを整備していくことが課題であり、市民が生涯学習活動を行う上で必要としている情報を提供していきます。



※資料は、成田市民の生涯学習・生涯スポーツに関する意識調査報告書より

(2) 事業の展開

① 生涯学習情報受発信の充実

市民が気軽に情報を収集、発信できる「成田市まなび&ボランティアサイト」の充実を図ります。それにより、市民が積極的に行政、NPO、各種団体と情報交流が行える体制の充実を図ります。

市民活動支援サイト運営事業、広報なりた発行事業、なりた知っ得出前講座など

② オンラインサービスの強化

市民の生涯学習活動を活性化するために公共施設の予約や空き状況をリアルタイムで把握できるオンラインサービスの強化を図ります。

公民館予約サービス事業、インターネット広報事業など



2. 生涯学習活動の相談体制の充実

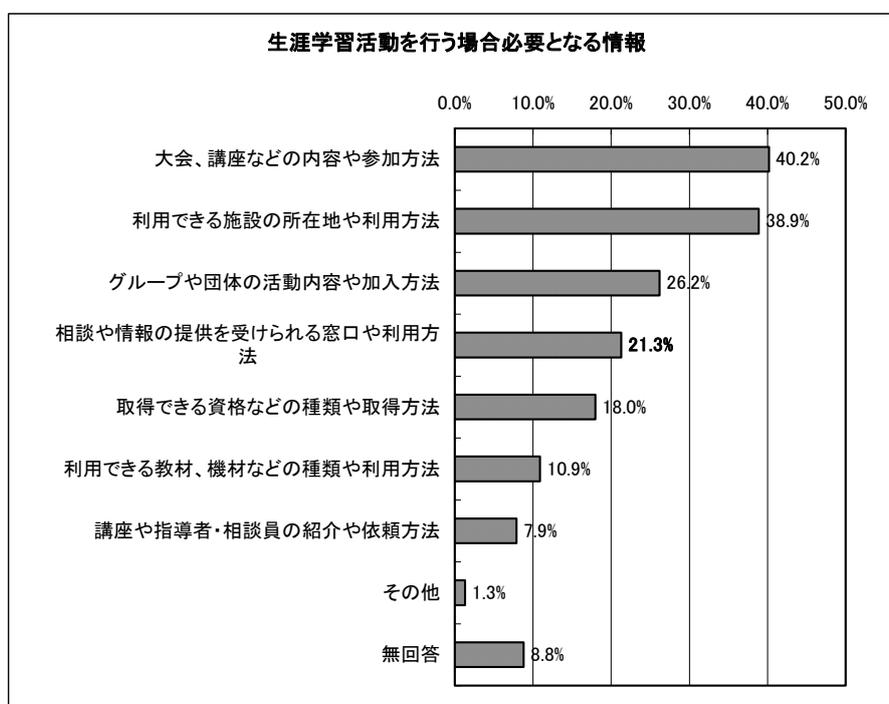
(1) 現状と課題

市民が、生涯学習活動を行う中で生じたさまざまな疑問や悩みに適切に対応する支援体制が必要となります。そこで、市民が気軽に相談でき、具体的なアドバイス機能を備えた体制の整備が求められています。

「生涯学習活動を行う場合必要となる情報」として「相談や情報の提供を受けられる窓口の場所や利用方法」が21.3%となっており、市民は、相談体制の整備を求めています。

現状では、教育相談や生活面の各種相談など、市民ニーズの高い相談事業を行う一方、教育支援委員や養護補助員の配置、子どもを抱える親の悩み相談や自立支援などの相談・支援事業を行っています。生涯学習に関するさまざまな相談ができる窓口の整備や相談員の常時配置など、今後もさらに相談体制を充実させていくことが重要となります。

引き続き生涯学習活動を行っていく上での疑問や悩みを抱えた市民に対して、身近に相談できる体制をさらに充実させ、適切なアドバイスができる相談員の養成・配置などの体制の整備を図ります。



※資料は、成田市民の生涯学習・生涯スポーツに関する意識調査報告書より

(2) 事業の展開

① 相談体制の充実

市民が生涯学習活動を進めていく上で、疑問や悩みを抱えたときに、気軽に相談が受けられる体制の整備と、地域の身近な場所で相談できる機会の充実を図ります。

教育相談事業、各種相談事業など

② 相談員の人材確保・支援

市民の生涯学習に関するさまざまな相談に対して、適切なアドバイスを行える人材を養成します。

そのために、講座や研修、実践事業等を積極的に行い、人材の確保・支援に努めます。

教育相談講座、教育支援センター運営事業など



3. 生涯学習活動の場の充実

(1) 現状と課題

市民の学習需要を満たすためには、学習機会の充実や学習施設の整備が必要となります。

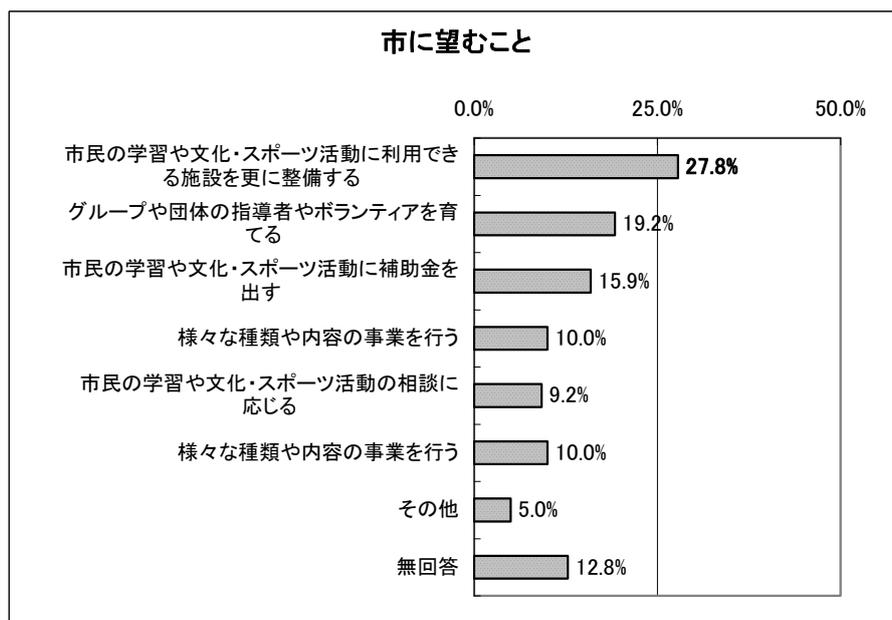
「市に望むこと」として、「市民の学習や文化・スポーツ活動に利用できる施設をさらに整備する」が 27.8%と高く、市民が生涯学習の場の充実を求めていることがわかります。

現在、本市では、生涯学習拠点として中央公民館や図書館、生涯学習会館や生涯大大学校、国際文化会館やコミュニティセンターなどの施設を有しています。

また、地域の身近な学習の場として、地区公民館や集会施設、スポーツ広場など地域の特性を考慮した整備も進めています。さらに、将来的には、成田国際文化会館の建て替えや、公民館や図書館の機能を併せ持つ赤坂センター地区複合施設の建設、市民の発表の場としての市民ギャラリーの創設など、計画的に検討を進めていきます。

今後も、生涯学習活動を行う市民の増加や、学習内容の多様化が進んでいくことが予想され、それらのニーズに応えていくことが必要となります。

このような課題に対応するため、新たな施設の整備を進め、既存の施設の改修や施設間の連携による共催など、さまざまな方法を検討し、効率的な事業展開を図ります。



※資料は、成田市民の生涯学習・生涯スポーツに関する意識調査報告書より

(2) 事業の展開

① 生涯学習関連施設の整備・運営の充実

新たな学習ニーズや生涯学習活動を行う市民の増加に対応するために、生涯学習関連施設の整備や有効活用を図ります。既存施設については、利便性に配慮した事業運営や各施設間における連携などに努めます。

国際文化会館施設整備事業、赤坂センター地区複合施設整備事業、市民ギャラリー運営事業など

② 魅力ある公民館活動の推進

公民館は、市民が学習や発表を行う地域の拠点となる重要な施設であり、公民館活動の推進は、市民の生涯学習活動の活性化につながります。

本市の地域特性にあった魅力ある講座・教室やグループ・サークルの活動の育成を通じて、郷土の教養文化の向上、仲間づくりの場の提供などを図り、地域住民に親しまれる運営に努めます。また、学習内容の多様化、高度化に対応した公民館運営を行うとともに、施設の有効活用を図ります。

公民館講座教室等開催事業、公民館まつり事業など



公民館講座教室

③ 市民生活に根ざした図書館サービスの充実

地域を支える情報拠点として、市民の生活、仕事、学校など各分野における情報提供機能を強化し、図書館サービスの充実に努めます。また、本館を中心に分館などのサービスポイントを効果的に配置して図書館サービス網を整備し、市民の利用のしやすさに配慮します。

視聴覚サービスセンターでは、教材や機材の貸し出しをはじめ、各種視聴覚機器の講習会、映画会を開催するなど、さまざまな市民サポートサービスを展開していきます。

図書館事業、視聴覚ライブラリー運営事業、市史編さん事業など



成田市立図書館